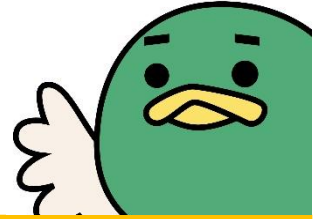


第3期

健康日本21津島市計画

令和8年度～令和19年度

概要版



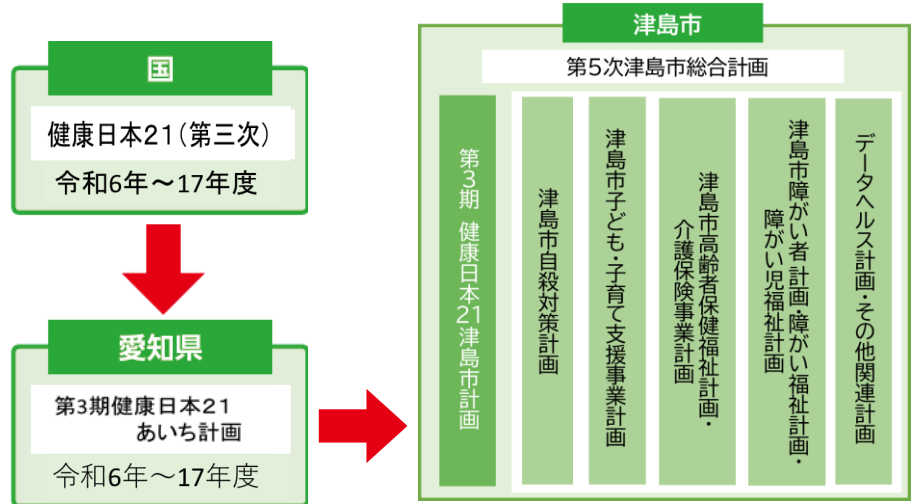
1. 計画概要

策定の目的・位置づけ

本計画は、市民が生涯にわたって、健康でいきいきと暮らしていけるよう、市民一人ひとりが主体的に健康づくりに取り組むとともに、家庭、地域、社会全体で支援する環境づくりを推進していくことを目的として策定しています。

津島市第5次総合計画を上位計画とし、津島市の関連計画や国の「健康日本21(第三次)」、愛知県の計画である「第3期健康日本21あいち計画」とも整合性を図っています。

また、本計画は「食育基本法」及び「歯科口腔保健の推進に関する法律」に基づく計画内容も含まれます。



計画の期間

本計画の期間は、令和8年度から令和19年度までの12年間です。目標の評価については、計画の中間年にあたる令和13年度に中間評価及び見直しを行い、令和19年度に最終評価と次期計画の策定を行います。ただし、計画期間中に社会情勢の変化等が生じた場合は、必要に応じて見直しを行います。

2. 津島市の健康に関する状況

津島市の現状についての分析

地域の背景

・2050年には10人中4～5人が高齢者となると推測される。

健(検)診

- ・特定健診受診率は増加
- ・がん検診受診率は横ばい

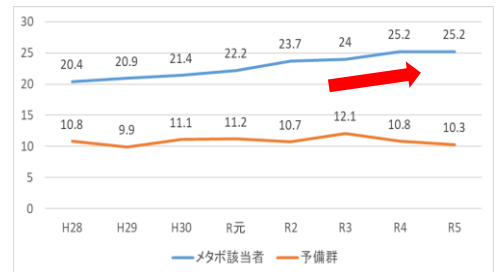
医療・疾患・介護

- ・高いメタボ該当者率
- ・人工透析患者の割合が多い
- ・要支援・要介護者の増加

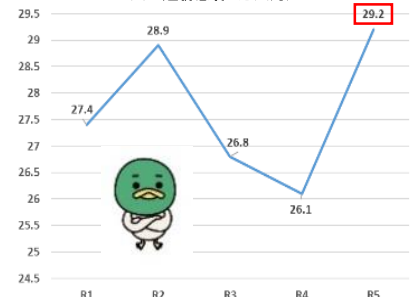
ボランティア

- ・健康づくりボランティアが活躍中

特定健診受診者のうちメタボ該当者の割合



人工透析患者1万人対比



第2期計画の評価

- ・メタボ該当者や人工透析患者の割合が高く、生活習慣病や重症化の予防は重要な課題
- ・自殺者数減少には至らず、こころの健康づくりの視点や人とのつながりが持てる取り組みが必要

3. 第3期における健康づくりの取り組み

第3期計画の基本理念

世代をこえて 笑顔で健幸 つながる つしま ～健幸づくりは仲間づくり～

取り組みについて



それぞれの《課題を達成するうえで大切にしたいこと》を
市民団体や関係機関の職員、市の職員で構成される
ワーキンググループで話し合いました。

① 生活習慣病の 予防・重症化予防

疾病(がん・循環器疾患・糖尿病)

身体活動・運動

休養・こころの健康

栄養・食生活

歯と口腔の健康

喫煙・飲酒

- ・健診を受けやすい環境をつくること
- ・自分の健診結果を振り返り、必要時に危機感をもつことができること
- ・家族や友人など周りの人も気が付く初期症状がわかること
- ・運動を一緒に取り組めるコミュニティがあること
- ・自分の生活習慣を振り返るきっかけがあること
- ・食まるファイブを活用した普及啓発をすること
- ・未成年への飲酒・喫煙防止の啓発をすること
- ・若年層へのヘルスリテラシーの啓発をすること
- ・世代別・世帯別に分析し、アプローチの方法を検討すること

② 赤ちゃんから 高齢者まで すべての 市民を健康に

こども

高齢者

女性

世代間交流

- ・自分を大切にする気持ちを育てること
- ・こどものころから正しい生活習慣についての伝えていくこと
- ・すべての世代の支援を充実させること
- ・こどもが健康でいるために、家族の健康にも重きを置くこと
- ・支援者同士の横のつながりがあること
- ・交流の場に行くことを好まない人へのどのようにアプローチしていくか考えること
- ・子育て中の女性でも負担なく運動できる環境があること
- ・世代問わず取り組める体操などのツール、趣味などがあること

③ 健康づくりを 地域のみんで 支え合う 仕組みづくり

社会的なつながり

自然に健康になれる環境づくり

多様な主体との連携

ボランティア活動の推進

- ・新しい人や普段顔を出さない人でも気軽に参加できる雰囲気のある場やイベントがあること
- ・関係機関が健康に関して何をしているか把握すること
- ・個人と企業のマッチングができること
- ・1人でも複数でも、屋外でも屋内でも、デジタルでもアナログでも自分に合うものを選んで取り組めるものがあること
- ・ボランティアグループ同士で横のつながりがあること
- ・ボランティアに参加する人が増えるような取り組みを行うこと
- ・活動の中で個人に負担のかからないような配慮があり、無理なく活動ができること



第3期計画の特徴

- ・「食育基本法」及び「歯科口腔保健の推進に関する法律」に基づく視点を踏まえて作成しました。
- ・～健幸づくりは仲間づくり～に則り、家族や友人など仲間と一緒にとりくめること、自分に合った方法を選択できることをテーマに今後の取り組みをワーキンググループで検討しました。
- ・ライフコースアプローチにおける女性の健康の視点や、多様な主体を巻き込んだ健康づくりの視点を踏まえた評価指標を設定しました。
- ・来年度以降も継続してワーキングを開催し、関係機関や市民と一緒に計画の推進をしていきます。



第3期 健康日本21 推進ワーキングにて検討・実施(一部抜粋)

つなごうよ みんなで広げる 健幸づくり

短期取組

- 疾患の初期症状が分かり 家族や友人と声を掛け合える 媒体の作成
- 健(検)診にかかる時間や 受診までの流れ・ 検査の内容などをPR

中期取組

- 様々な世代の方が 生活の中で無理なく 健(検)診を受診できる工夫
- 健康マイレージのポイントを ためることで得られる特典の 種類の増加

長期取組

- 職域と連携し、 市内在勤者の健康に ついての課題を分析
- 健診結果の見方について 学び、結果を振り返ることの できる機会を作る

しあわせのバトン 笑顔でつなぐ

短期取組

- 家族や友人と一緒に 公園を利用することを 促す仕組みの検討
- 子育て世代が 体を動かすことのできる 事業を継続

中期取組

- 今ある集まりの場に 家族や友達を「お誘い」 しやすいツールの検討
- 学校での津島市のご当地 体操である「つし丸たいそう」 の実施

長期取組

- デジタル等を活用して 人とのつながりが持てる 仕組みの検討
- 趣味の活動を通して 人とのつながりを 持てるツールの検討

マッチング 個性を活かす 市民のWA

短期取組

- ボランティア同士の つながりが持てる交流会の 開催
- 市内・市内の健康づくりに 関連する取り組みについて 継続して情報共有

中期取組

- 教室の種類や参加方法等の 選択肢を増やす
- ボランティア活動の様子を 紹介する動画の作成

長期取組

- 地元企業と連携した イベントの開催
- ボランティアしたい人と 来てほしい人をマッチング できるシステムの検討

4. 評価指標と目標値(一部抜粋)



分野	項目		対象	単位	実績値		目標値	
					令和3年	令和6年	令和13年 (中間評価)	令和19年 (最終評価)
人口統計	平均自立期間の延伸		男性	歳	78.4	79.5	80.0	82.0
			女性	歳	81.5	83.7	84.0	85.0
検診・ 健診受診	がん検診の 受診率の向上	胃がん		%	9.3	8.9	10.0	15.0
		肺がん		%	14.4	13.7	15.0	20.0
		大腸がん		%	12.3	11.6	13.0	18.0
		子宮頸がん		%	7.1	7.8	9.0	12.0
		乳がん		%	8.3	8.5	10.0	15.0
	特定健診の実施率の向上		40-74歳	%	45.6	47.4	増加	増加
	特定保健指導の実施率の向上		40-74歳	%	18.6	14.6	増加	増加
疾病予防	メタボ該当者の減少		40-74歳	%	24.0	26.0	25.0	24.0
	メタボ予備群の減少		40-74歳	%	12.1	10.7	10.0	9.0
	透析患者(人口1万人比)の減少			人	26.8	25.2	28.0	26.0
休養・ こころの健康	自殺者の減少(人口10万人当たり)			人	6.0	14.0	9.0	6.0
喫煙	喫煙率の減少			%	14.0	14.0	13.0	12.0
栄養・食生活	低栄養傾向の高齢者の減少		後期高齢者 医療被資格者	%	7.84	8.99	8.00	7.00
歯とお口の 健康	3歳児でう蝕がない者の割合の増加			%	90.9	93.4	95.0	97.0
	歯科健診の受診者の増加			人	288	162	200	300
赤ちゃんから 高齢者まで すべての市民を 健康に	骨粗しょう症検診の受診者の増加		40・45・ 50・55・ 60・65・ 70歳女性	人	4	9	80	120
自然に 健康になれる 環境づくり	つしま健康マイレージ参加者数の増加			人	1,796	4,048	4,900	5,000
	健幸塾・出前講座の実施回数の増加			回	10	25	35	40
	健康宣言事業所数			件	60	122	150	200

